

## くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.7

開催地：山江村万江地区

平成 19 年 5 月 29 日（火）、山江村万江地区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

山江自然休養村管理センターにて開催された同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

|    |      |
|----|------|
| 村内 | 17 名 |
| 村外 | 4 名  |

※参加者数は記名者数

### 住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

#### 【河川整備基本方針の説明について】

- ・基本高水 7, 0 0 0 トン/秒と計画高水 4, 0 0 0 トン/秒との差の 3, 0 0 0 トン/秒はどうするのか。
- ・森林保全である程度の流量調整ができと思っているが、今では鹿の食害などがあり、林業だけでは対応できなくなっている。
- ・流域の森林面積はもう増えないだろう。昔の山は腐葉土も多くてふわふわし水を貯めていたと聞いたことがある。混交林ならばもっと水を貯められるのではないか。

#### 【球磨川の治水対策について】

- ・球磨川流域では毎年浸水被害を受ける住民がいる。国土交通省は河川管理者として住民の生命・財産を守る義務がある。
- ・万江川の竹やぶが昨年の水害で流れ、一年近く川に引っかかったままである。
- ・万江川上流の砂防ダムが砂利で満杯となっている。
- ・これ以上川底が上がらないように帯工もしくはブロックの設置をお願いしたい。
- ・万江川では 50 年に 1 度大きな水害が発生している（昭和 19 年と平成 5 年）。
- ・砂防ダムは何故造るのか。砂防ダムに貯まった土砂を撤去して有効利用すると川への土砂流出が無くなり、川に土砂が堆積せず、魚の住処が守れるのではないか。

#### 【球磨川の環境について】

- ・せっかくお金をかけてサイクリングロードをつくったのだから、PR などもっと利用面でも力を入れるべき。
- ・球磨川沿いで地区によって桜を植えたりしているが、地区と行政で一体として実施している箇所がどれくらいあるのか。どこを重点的に進めていくのが分からない。
- ・万江川への降り口が少ない。階段やスロープを造り、みんなが気軽に川に親しめるような川づくりをして欲しい。
- ・河川改修では、護岸や河床をしっかりと固めて、魚や虫の生息場所を無くしてきた。今から復元するのは大変だが、やっていかなければいけない。みんなで知恵を出して取り組んでいきたい。

#### 【その他】

- ・人吉層を固めて強くすることはできないものか。
- ・雨が降ったらすぐに川が濁る。昔はそのようなことは無かった。源流域の対策をどう考えていくのか。
- ・川砂利を生コン材料に使うことはできないか。
- ・万江川には農業用水の堰があるが、昔ながらの石ころでできている。固定堰や可動堰を造ってもらえないか。
- ・発電水利権の許可期限を機に万江川の水利権を返して欲しい。
- ・万江川は地域の大事な観光資源であり、非常に魅力のある川で地域としても親しみを持っている。しかし、近年は水量が減り、少しの雨でも川が濁る。川底が土砂で 2 m 以上上がっている。これらは全て鹿害や手入れ不足などで上流の森林が荒れたことによるものである。
- ・山がはげたのは昭和 3 0 ~ 4 0 年代であり、今の方が山に自然はいっぱいある。しかし、森林の下草を鹿が食べてしまったことで、すぐに土砂が流出するようになった。川の濁りは鹿の害。
- ・発電用の荒瀬ダムだが、恩恵は全く無いという声があるのが不思議。荒瀬ダムを撤去して下流の八代市は大丈夫

なのか。

- ・昭和40年水害の際には、市房ダムの放流によって大災害となったと聞いたが本当か。
- ・工場の現場でも看板を立てる、クリーンアップ作戦を行う等の取り組みが必要ではないか。空き缶やゴミなどが工事現場に散乱しているなど環境が良くない。
- ・業者が取り組めるような環境づくりが必要であり、それが少しでもきれいで住みやすい地域をつくる。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

